

念 人間学塾・中之島

塾 是

- 森 信三先生を始めとした先哲に学ぶ。
- 日常生活の細事を軽んぜず、徳行に努める。
- 心願以て万事の源と為し、世界の手本となる人間塾を創る。

第七期 塾生募集 案内

三大綱領

◆ 念々志学

— 生涯学習を
目指しましょう

◆ 念々心願

— 一歩貢献を
念じましょう

◆ 念々感謝

— 師恩友益に
目覚めましょう

「三つの誓い」

- 一つでいい 一つがいい 小さな一つを やりつづけよう [行持]
- 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 願いをもとう [心願]
- 一つでいい 一つがいい 小さな一つの 実を結ぼう [結実]

当塾の前身は「天分塾」にあり、森信三先生の高弟、寺田一清先生のご指導のもと新たに開塾した。源流は江戸期大坂にて幾多の人材を輩出した「適塾」「懐徳堂」「心学講舎」などにもある

ああ 中之島

作詩 寺田一清
作曲 小川けい子

(一) 名も高き 水の都の

なにわの地 ふかき伝統

うけつぎし 人間学塾

この地この時 ああ中之島

(二) 願いこめ この日の本^{ひもと}

再生を 心に秘めて

努めんや 心願達成

共に手をとり ああ中之島

(三) 天仰ぎ 地にひれ伏して

願わくば 師恩の光り

しみじみと 念々感謝

この学び舎に ああ中之島

この学び舎に ああ中之島

開講日・会場

<http://www.nnakanosima.org>

人間学塾・中之島 検索

◆ 大阪大学中之島センター (TEL.06-6444-2100)
大阪市北区中之島4-3-53



電車によるアクセス・京阪中之島線 中之島駅より 徒歩約5分
・JR東西線 新福島駅より 徒歩約9分
・地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より 徒歩約10分

- ◆ 毎月第2土曜 会場の都合により変更がある
午後1時より午後5時 受付午後0時30分～
- ◆ 研修会場
大阪大学中之島センター
10階 佐治敬三ホール
- ◆ 年間2回の宿泊研修
H30年11月(和歌山県・高野山宿坊)
H31年 3月(京都府・仁和寺「御室会館」)
- ◆ 郊外学習「先哲 ふる里訪問」
H31年4月～5月予定(日帰り)
- ◆ 塾生講話
塾生による実践講話

受講費

年間 78,000円 (分割払い可。相談応)

※ 受講費請求は、入塾申込書受付後事務局よりご案内致します。

- ◆ 但し、学塾・中之島/旧天分塾卒塾者は、年間 68,000円
- ◇ 宿泊研修 11月・3月 各一泊二日 (各費用 15,000円程度)
- ◇ 必要に応じて懇親会開催 (費用 2,000円程度)

年間開講日程

※ 開塾日は、基本第二土曜日ですが、会場・講師のご都合により、変更も有ります。

開講日	講師	テーマ
9月15日 (※ 第三土曜)	入塾式	
10月13日	鈴木秀子	「いま目の前のことに心を込めなさい」
11月10日 宿泊研修	瀬岡佳史	「岡 潔博士と日本の情緒」
11月11日	武藤杜夫	「なぜ少年院で人生が変わるのか？」
12月8日	上甲 晃	「生きる基本を問う!!」
平成31年 1月12日	木南一志	「学歴よりも本気歴」
2月16日 (※ 第三土曜)	横田南嶺	「禅の教えに学ぶ」
3月9日 宿泊研修	中桐万里子	「尊徳翁に学ぶひとつづくりの秘訣」
3月10日	我那覇真子	「沖縄から日本の未来が見える」
4月13日	松岡 浩	「時を守り・場を清め・礼を正す」
5月11日	石川真理子	「武道とは愛することと見つけたり」
6月8日	池田 整治	「本当のことを知れば生き方が変わる」
7月13日	山川 晋	「熱く生きる」
8月17日 (※ 第三土曜)	卒塾式	

《事務局》 〒648-0094
和歌山県橋本市三石台4-1-15
「人間学塾・中之島」 宮本宅内
TEL 0736-38-3669・FAX 0736-38-3680
P/C M・ﾌﾞﾙｰ mm3724@skyblue.ocn.ne.jp
090-1671-4725 mm4115@docomo.ne.jp

第七期 講師紹介

※ 講師は、都合により講師の推薦する方に
変更する場合があります。



すずきひまこ
鈴木秀子

東京大学人文科学研究科博士課程修了。文学博士。フランス、イタリアに留学。ハワイ大学、スタンフォード大学で教鞭をとる。聖心女子大学教授（日本近代文学）を経て、国際コミュニケーション学会名誉会長。聖心女子大学キリスト教文化研究所研究員・聖心会会員。文学療法、ゲシュタルト・セラピー日本にはじめてエニアグラムを紹介。



せおかよしふみ
瀬岡佳史

1953年和歌山県に生まれる。関西学院大学理学部卒業。和歌山県立高等学校教諭、県教育委員会指導主事等を経て、県立高等学校校長。定年退職。現在橋本市岡潔教学WAVE会長として、数学者岡潔博士の顕彰活動を行っている。



むとうもりお
武藤杜夫

1977年東京都生まれ。中学生時代から非行が始まるも、教育者としての使命に目覚めたことで猛勉強の末法務省に採用される。その後は少年院の法務教官として多くの非行少年を更生に導き、スーパー公務員として注目を集めるが、昇任を固辞して突然退職。教え子である少年院の卒業生らと「日本子どもみらい支援機構」を設立する。



じょうこうあきら
上甲 晃

1941年大阪市に生まれる。1965年松下電器産業(株)入社。1981年財団法人松下政経塾に入学。理事・塾頭を歴任。1996年退社し志ネットワーク社を設立。1997年『青年塾』を創設。現在第22期生を迎え、累計約1800名を超える。主な著書『志のみ持参』『人間として一流をめざす』『志を教える』『志を継ぐ』など著書多数。



きみなみかずし
木南一志

1959年1月兵庫県生まれ。株式会社新宮運送代表取締役。『S-DEC運動』という、4000日間の無事故無違反を推進する循環型の運動を実施。「事故が起きては仕方がない」という考えを壊し、社員の自発的な努力の必要性を促している。本物と呼ばれるような企業を目指して、柔軟なスタンスで事業を推進している。



よこたなんれい
横田南嶺

1964年和歌山県新宮市生まれ。1983年筑波大学に入学。東京都文京区白山道場龍雲院 小池心叟老師について出家得度。1987年筑波大学卒業、京都建仁寺僧堂、円覚寺僧堂にて修行。円覚寺足立大進老師に嗣法。2010年臨済宗円覚寺派管長に就任。『祈りの延命十句観音経』『二度とない人生だから今日一日は笑顔でいよう』など著書多数。



なかざりまりこ
中桐万里子

東京生まれ。京都在住。二宮金次郎から七代目子孫。慶応義塾大学環境情報学部卒業後、京都大学大学院に入学。京都大学博士(教育学)。専門は臨床教育学。現職は、親子をつなぐ学びのスペーススリレイト代表、関西学院大学講師、国際二宮尊徳思想学会常務理事など。『現代に生きる「二宮翁夜話」』(致知出版社)など。



がなほまさこ
我那覇真子

沖縄県名護市生まれ。2005年高校交換留学で米国オハイオ州・カリフォルニア州へ渡米。2012年早稲田大学人間科学部卒業、著書『日本を守る沖縄の戦い』アイバス出版。現在「琉球新報・沖縄タイムス」を正す県民・国民の会代表運営委員、日本文化チャンネル桜沖縄支局キャスター、インターネットテレビ「沖縄の声」他多数に出演。



まつおかひろし
松岡 浩

1944年岐阜県生まれ。大垣商業高校卒業後、イビデン(株)勤務から家業のスーパーマーケットの経営を経て(株)タニサケを設立し「ゴキブリキャップ」を爆発的にヒットさせる。2000年社長職を辞し、会長となる。「中小企業の手本となる会社」を目指したいと、現在は講演活動や社会活動に取り組み、毎月一回無料で「タニサケ塾」を主宰し「日本一の知恵工場」経営の秘訣を伝授している。



いしかわまりこ
石川真理子

東京都出身。武家の家系に生まれ、祖母から武家に伝わる薫陶を受ける。文化女子大(現・文化学園大学)卒業後、大手出版社に勤務。独立後は文筆活動の他、武道や武家の生活文化を独自に学び、忘れられた「婦道」啓蒙活動を行う。主な著書『女子の武道』『女子の教養』『勝海舟修養訓』(致知出版社)『仕事で生かす武道』(内外出版社)他多数。



いけだせいじ
池田 整治

1955年愛媛県生まれ。元陸上自衛隊 陸将補。1990年半ば北朝鮮危機時の警察との勉強会、オウム教上九一色村サティアン強制捜査に自衛官として唯一支援した体験から独自に世の真実を研究。退官後は、日本人の意識向上のための言論活動を展開中。著書に「マインドコントロール」(ビジネス社)「この国を操り奪う者たち」(ヒカルランド)等



やまかわすすむ
山川 晋

1952年滋賀県生まれ。税理士法人中央総研代表社員。会計士の使命とは何か、との問いに明快な答えを与えてくれた師匠の越智直正に人間学を学ぶ。中小企業の社長が元氣になれば日本が良くなると、ボランティアで毎月1回、京都・名古屋・金沢・彦根など8カ所で「人間学」を開催。「現代の論語と算盤」を追求している。



塾生の
塾生による
塾生のための塾

人間学塾・中之島 略称 學塾・中之島

非常勤 顧問 清水正博
常勤 顧問 細川三郎
代表 宮武清寛
副代表 中川千都子
総務部長 古田修平
事務局 宮本真弓